

独立行政法人 都市再生機構が発行する「ソーシャルボンド」への投資について

JAいずみの(代表理事組合長 谷口 敏信、以下「当JA」という)は、このたび、独立行政法人都市再生機構(以下「同機構」)が発行するソーシャルボンドに投資しました。

ソーシャルボンドとは、調達された資金が、社会課題への対応を目的とした分野への投融資に利用されることを前提として発行される債券です。

この債券により調達された資金は同機構が実施するソーシャルプロジェクトの財源として活用され、我が国が抱える社会的課題の解決、また国連の持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献します。

SDGsの取り組みにある「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」は協同組合の精神である相互扶助と共通するものです。当JAは相互扶助の精神に基づき、将来ビジョンである「食と農を基軸に地域のオピニオンリーダーになる」の実現に向け、さまざまな自己改革に取り組んでいるところです。

今後も適切なリスク管理のもと、事業活動を通じてSDGsの達成に貢献し、地域に根差したJAとしての社会的責任を果たしたいと考えています。

そして、ソーシャルボンドへの投資が、国際社会の健全な成長のために活用され、地域農業・経済のさらなる発展に繋がっていくことを期待しています。

●債券の概要

銘柄名	第170回都市再生債券
発行日	令和3年6月18日
発行総額	100億円
当JA購入額	1億円
期間	20年

※持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる加盟国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと。